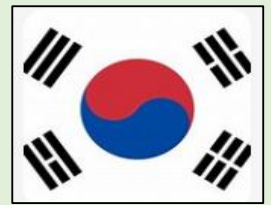




2026年5月の活動報告

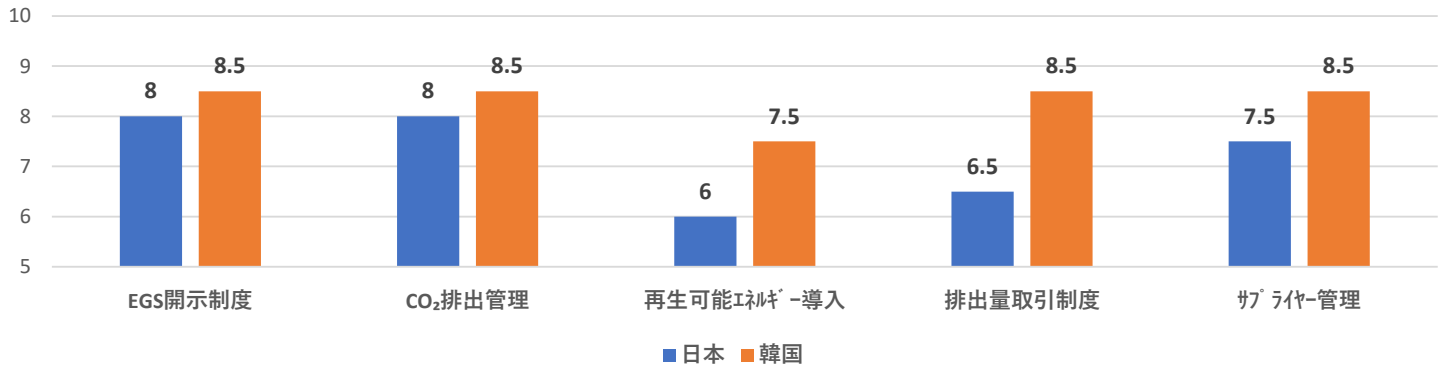


日韓の「脱炭素 (Carbon Neutral) ・ ESG対応の最新動向」をご紹介します。

近年、自動車業界を中心にサプライチェーン全体でのCO₂削減活動が求められています。韓国では2026年より企業のESG開示制度や排出量取引制度が強化され、環境対応が企業競争力の重要な要素となっています。

今回は日本と韓国の脱炭素・ESG対応の動向を比較し、自社活動への示唆をまとめました。

日韓 ESG・脱炭素対応 (2026年度版)



【評価理由】

	ESG開示制度	CO ₂ 排出量管理	再生可能エネルギー導入	排出量取引制度	サプライヤー管理
日本	プラム市場中心に推進中	Scope1・2中心からScope3へ拡大中	導入拡大中だが土地制約あり	GX-ETSは発展途上	自動車業界中心に拡大
韓国	ISSB準拠の制度導入準備が加速	輸出産業を中心に管理強化	政府主導で太陽光・風力投資を加速	K-ETSが本格運用され企業への影響大	大企業から中小企業への要求が急速に浸透



太陽光発電



EVインフラ



生ごみ分別がすべてのマンションに設置

ダイカスト業界への影響

- ✓ アルミ材料のCO₂排出量把握
- ✓ 再生アルミ材使用率向上
- ✓ 電力使用量削減による省エネ推進
- ✓ 廃棄物削減とリサイクル率向上
- ✓ 顧客からのESG関連調査増加

今後の取組み

自動車業界では製品品質だけでなく、環境負荷低減活動も重要な評価項目となっています。韓国を含む海外サプライヤーではESG開示や脱炭素活動が加速しており、今後はサプライチェーン全体での環境対応が求められます。当社としてはイコアクション21活動を通じて、省エネルギー活動・廃棄物削減・リサイクル推進を継続し、環境負荷低減に取り組んでいきます。

	内容	目標	当月実績	達成度合	判定	特記事項
節電	消費電力の削減	1,049.0 kwh/月	1,029.4 kwh	101.9%	達成	
節水	水道使用量削減	7.429 m ³ /月	6.360 m ³	116.8%	達成	
廃棄物処理	可燃ゴミ削減	14.00 Kg/月	11.24 Kg	124.6%	達成	
グリーン購入	グリーン購入品推進	85 %/月	100.0 %	117.6%	達成	
製品・サービス	省エネ省資源化の提案	3 件/月	4 件	133.3%	達成	